

司 会 ①浅井兄 ②大谷兄 ③滝山兄

奏 楽

祈 禱 ①三畑兄 ②水谷兄

賛 美 聖歌604番「望みも消えゆくまでに」
(主を喜ぶことは)(御手の中で)

十 戒

聖 書 ①②ヨハネによる福音書13章31～35節 (P164)
③ マルコによる福音書10章32～34節 (P69)

音 楽 ガリラヤバンド

証 詞 ①②高橋寛実姉(青年会・ICA教師)

誕生祝福式

メッセージ ①②「最後の説教・シリーズ1」 倉知契副牧師
③ 「仕える者の宿命」 大川従道牧師

賛 美 「したいまつる主の」 (聖歌581番・東京伝道へ献金)

頌 栄 「シャロームシャローム」 アーメン(中嶋正兄・古谷隆兄ご召天)

祝 禱

「しかしヨブは彼女に言った、『われわれは神から幸をうけるのだから、災をも、うけるべきではないか』。すべてこの事においてヨブはそのくちびるをもって罪を犯さなかった。」(ヨブ二の十)

【大和コース】

- ・ 本日より3回連続で「入門講座」(坪井師)が始まります。受洗者は必修です。
- ・ ICA禱援会、バルナバ会、ヨシユア会、J.Plus(青年、学生、ヤンチャ)、ナオミ会、ハンナ会、カレブ会等がなされます。

☆東京カルバリーの月例礼拝は、3月11日17時。ハイアットホテルにて。

いよいよ起工式が、6日に行われます。ご協力とお祈りを感謝します。

- * 今週の祈禱会は大切です。①水曜夜 ②木曜朝:説教は大川牧師(聖餐式) ③金曜夜の説教は坪井副牧師(聖餐式あり)
- ・ ゴスペルクワイアの練習は本日16時と10日(土)14時、泉チャペルにて。
- ☆来週は「3・11の7周年記念礼拝」です。

石の枕

「われわれは神から幸を受けるのだから、災をも、受けるべきではないか。すべてこの事においてヨブはそのくちびるをもって罪を犯さなかった。」

これはヨブ記2章10節の聖句であるが、1章22節でも「すべてこの事においてヨブは罪を犯さず、また神に向かって愚かなことを言わなかった」とある。ヨブの人生におこった驚天動地の出来事に対して、ヨブのとった態度はみごとなお手本である。特に、「言わなかった」とか「くちびるをもって罪を犯さなかった」という表現は、神様に対する全的信頼の態度であり、全人類が学ぶべき「言語学習」である。

「マイナスは必ずプラスになります！」とか、「祈りに導かれることはすべてよし」などは、やはり神様に対する信頼の証詞である。

私は「ハレルヤ！主よ感謝します！」を一日1800回発声しているが、それを知った九州のM牧師は、2000回口に出しているそうだ。どうしてですか？と尋ねたら大川牧師に負けないように、との返事を受けた？！

これは競争しているわけではないから、一日100回から始めてもよい。必ず不思議が起ります。批判している人は、一生身につかないで終わるでしょう。

死にたくなるほどの苦しみの中でも「罪を犯さなかった」というヨブは、やがて42章では、驚くべき祝福にあずかることになる。Amazing Grace!

先週、敬愛する中嶋正兄の告別式がなされ、賛美を通し、式辞をもって主の聖名が崇められた。遺族代表の奥様のご挨拶もすばらしかったが、若くして主のみもとに召されたひとり娘の「久美子さん」のあかしは、天においても、地においても大勝利の歴史であった。まさに「一粒の麦」(ヨハネ12の24)の聖句の立証であり、「そのくちびる」で罪を犯さなかっただけでなく、その信仰の告白が、多くの人々の心を変えることになった。

私たちがイエス様の十字架による救いをいただいたこと、そして復活の信仰を受け、やがては天国において永遠の世界で生きることに希望を有すること。

これらのことは、主への感謝を何千万回告白しても足りないほどの世界を享受させていただいていることである。マタイ25の23の英訳はすばらしい。

“Well done, Enter into the joy of your Lord”「死とは主の喜びに入ること！！」

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
Aコース:マルコ10章～13章 Bコース:民数記32章～申命記13章